

**9条改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名
各地でこんな取り組みが ③4** 2021年9月30日

9条改憲NO！全国市民アクション 連絡先 メール info@kaikenno.com ☎03-3221-4668

◆いよいよ総選挙！！

- ◆ **市民連合の共通政策提案に4野党党首が揃って合意、署名！共同の旗印ができた！**
- ◆ **菅政権投げ出しは、アベスガ強権・コロナ無為無策政権の完全な破綻、支え手の自民党・公明党の責任は重大！**
- ◆ **“表紙めくったら岸田さん..「改憲4項目はどれも大事」「任期中に憲法改正をめざす」と語る自民党新総裁**
- ◆ **臨時国会では予算委員会を開け！**
- ◆ **「コロナ対策・命と暮らし最優先に！改憲許すな・憲法いかせ！」の草の根の声を国会へ！**
- ◆ **衆議院総選挙—自公政権にさようなら
市民と野党の共同・野党の共闘で政権交代！**
- ◆ **9・19 強行から6年 戦争法は悪法の結節点、同時に共同・共闘の出発点。戦争法の具体化・日常化許さず、廃止を！！**

各地の取り組みから

北海道 オンライン学習会で改憲めぐる情勢をつかむ 医療 9 条の会

医療 9 条の会・北海道は戦争させない市民の風・北海道と共催で 9 月 4 日、札幌市でオンライン学習会を開催しました。講師は紙智子日本共産党参議院議員。

紙氏議員は国会報告の中で、無為無策のコロナ対策、しかもこんな時に病床削減法や高齢者医療 2 倍化法などの悪法の強行を批判する一方で、自民党改憲 4 項目は 9 国会に渡って議論をさせていないこと、その背景に世論と運動、市民と野党の共同の力があつたと述べました。今こそ政権交代を実現するために野党の本気度が必要とされていることを強調しました。

猫塚義夫共同代表は「Remember 中村哲 2021 in 北海道」の案内を行い、アフガニスタンの情勢について報告しました。

北海道 戦争法 NO！を学生らに訴え 江別市

江別市の**憲法 9 条を考える実行委員会**は 9 月 19 日、大麻駅前交差点でスタンディング宣伝を行いました。同行動は戦争法強行以来 73 回目となる行動でした。

同交差点は大学生や高校生の通行が多いところで、18 日が柳条湖事件 90 年に当ることなども含めた訴えに耳を傾ける姿もありました。

青森 戦争に頼って平和は実現しない 青森市・九条を守る茶屋町の会

青森市の**九条を守る茶屋町の会**は 9 月 9 日、市内で「『二度と戦争を繰り返してはならない、憲法を生かし、戦争に頼らぬ紛争の解決を』の声を今こそ高くあげよう」と宣伝しました。参加した 6 人はのぼり旗などを持ち訴えました。

同会の門倉昇会長は、4 月の日米首脳会談で日本がさらに軍拡を進める約束をさせられたことを述べ、「中国の脅威」に対し軍備強化で対応することの危険性を訴え、紛争解決は戦争に頼るべきではないことを強調しました。

青森 「市民連合・東青」 青森の 4 つ目の市民連合誕生

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合・東青が 9 月 18 日結成されました。同連合の代表者が 27 日、青森県庁で記者会見し報告しました。同連合は青森市と東津軽郡を中心に活動し、青森県で 4 つ目の市民連合となります。

記者会見では、9 月 8 日に結ばれた市民連合と野党の共通政策に基づく総選挙のたたかいの決意や特に青年層を対象にした投票率向上の運動の強化を表明しました。

宮城 野党予定候補者&市民連合 政策協定集会 宮城 1 区～4 区



9 月 25 日、勾当台公園野外音楽堂（仙台市青葉区）で、「市民と野党の共闘で さあ政権交代へ！ 野党予定候補者&市民連合 政策協定集会」を開催されました。

午前から雨が降り続いていましたが、なんと開始直前に雨があがり、300 名を超える市民が参加しました。

宮城 1 区・岡本あき子衆院議員（立憲民主党）、宮城 2 区・鎌田さゆりさん（立憲民主党）、宮城 3 区・大野そのこさん（立憲民主党）、そして宮城 4 区・ふなやま由美さん（日本共産党）と、市民連合みやぎ及び各区の市民連合連絡会が政策協定にサインし、4 人の候補者を「市民と野党の共闘候補」として確認しました。（5 区と 6 区の候補者とも今後協定を結ぶ予定です。）

総選挙を目前にし、宮城における市民と野党の共闘の、画期的な前進となりました。
(市民連合 HP September-26-2021 から)

宮 城 **ふなやま統一候補迎え学習交流集会 市民連合@利府**

市民連合@利府は9月25日、宮城県利府町で宮城4区の野党共同候補のふなやま由美さん(日本共産党)を迎えて学習交流集会が開かれ、市民30人が参加しました。

保健師のふなやまさんが命を大切に政治への転換を訴えました。市民連合@みやぎの今田隆一共同代表も発言し、自公政権によって医療破壊が現在のコロナのもとでの医療崩壊につながっていると批判、政権交代を呼びかけました。

山 形 **市民と野党が集会・デモ 山形市**

9条改憲NO!やまがた県民の会は9月19日、山形市で「やまがた県民の会集会」を開きました。集会には126人が参加し、集会後市内をデモ行進しました。

集会では立憲民主党、日本共産党、新社会党、社民フォーラムの代表があいさつしました。国民民主党からは2人の参議院議員のメッセージが寄せられました。

群 馬 **リレートークで政権交代訴え 4区の会**

群馬県の**希望ある政権をめざす群馬4区の会**は9月26日、高崎市の高崎駅西口でリレートークを行い、「野党の共闘で政権交代を」と市民に訴えました。

建設労働者、医療労働者、元教員、高崎経済大学学生、商工業者、女性活動家、原発なくせの活動家らが発言しました。

立憲民主党4区総支部長の角倉邦良さん、日本共産党群馬4区予定候補のはぎわら貞夫さんが訴えました。

栃 木 **県民ネットと野党4党が政策協定**

戦争法の廃止と立憲主義の回復を求める栃木県民ネットワーク(県民ネット)は9月24日、栃木県内の立憲民主党、日本共産党、社会民主党、新社会党それぞれと総選挙に向けた政策協定を結びました。

政策の内容は、憲法に基づく政治、科学的知見に基づくコロナ対策、格差と貧困の是正、地球環境を守るエネルギー政策の転換など7項目。「国民一人ひとりが尊重され、いのちと生活を守る政権交代の実現に、各党は他の立憲野党とともに最大限の努力をする」とうたっています。

埼 玉 **政策合意・野党共闘に期待 戦争させない!埼玉の会宣伝**

戦争させない!埼玉の会は**コロナ禍から命・暮らしを守る緊急アクション@埼玉**と連帯して9月10日、さいたま市の浦和駅東口で定例の金曜宣伝を取り組みました。

行動では、8日合意された市民連合と野党4党の政策合意を紹介、自公政権からの政権交代をと訴えました。足を止めた市民からは、「野党がまとまらないのでイライラしていた。やっと動き出した」「テレビは自民党総裁選の番組ばかり、野党の動きも報道すべきだ」などと政策合意や野党共闘への期待の声が寄せられました。

埼 玉 **「こんな政治もうやめさせよう」 オール1区連絡会**

埼玉県の**オール1区連絡会**は9月19日、さいたま市の浦和駅東口で街頭宣伝を行いました。行動には政党から、たけまさ公一立憲民主党前衆議院議員・埼玉1区総支部長、塩川鉄也日本共産党衆議院議員・北関東比例予定候補、池田まさよ社会民主党衆議院北関東比例予定候補、田島つよしれいわ新選組衆議院埼玉2区総支部長が参加しました。4氏は、「立憲主義、民主主義を取り戻すために総選挙で政権交代を」、「市民連合と野党の政策合意で共通の旗印、本気の共闘で連合政権を」、「政権交代しなければ命、医療が守れない。こんな政治もうやめよう」、「野党共闘で消費税5%への減税を」などと訴えました。

主催者からは、「たけまさ氏との間で5項目の政策が合意となった。国民の命と暮らし

を守る新しい政治を実現しよう」と原富悟同連絡会代表が報告しました。オール埼玉実行委員会の小出重義実行委員長・弁護士はあいさつで、「誰が自民党総裁になっても日本の政治はまったく変わらない。総選挙で政権交代だ」と発言しました。

埼玉 学習決起集会に 90 人 埼玉憲法会議

埼玉憲法会議は 9 月 14 日さいたま市で、総選挙に向け、自公政権を続けさせず、野党の勝利で政権交代を実現しよう、埼玉から政治を変えようと憲法・学習決起集会を開催しました。集会には、オンラインも含め、90 人が参加しました。

主催者あいさつでは新島善弘憲法会議代表委員が、市民連合と 4 野党の政策合意を歓迎し、力にして何としても政権交代をと訴えました。来賓のオール埼玉総行動実行委員会の小出重義実行委員長・弁護士は、自民党総裁選の候補者はみんな安倍・菅政権を支えてきた人たちであり、自公政権が続く限り政治は変わらないと批判しました。

小林節慶応大学名誉教授が講演し、自民党の改憲草案が国民に憲法を守る義務を押し付けていることを指摘しました。自民党が今日、話してわかる相手ではなく、どうしても政権交代が必要になっているとして、野党が候補者を一本化して総選挙に臨むことが大事であると強調しました。

東京 70 回目の国会行動 戦争法強行の原点に立ち「政権交代！」

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会と9条改憲NO！全国市民アクションは、戦争法強行から 7 年目を迎えた 9 月 19 日、70 回目の国会行動「戦争法強行からまる 6 年、戦争法廃止、立憲主義の回復！いのちと暮らしを守れ！自公政権退陣！総選挙勝利！9・19 国会正門前行動」を取り組みました。

国会正門前の舞台とオンラインで結び、参加した約 1000 人は、戦争法の原点をふまえ、戦争法の廃止、力を合わせて政権交代を実現しようを確認し、アピールしあいました。

行動では菱山南帆子さん（総がかり行動実行委員会・全国市民アクション運営委員・9 条壊すな！実行委員会）が主催者あいさつ、小田川義和さん（総がかり行動実行委員会・全国市民アクション共同代表・憲法共同センター）が行動提起を行いました。

政党からは、菅直人さん（立憲民主党最高顧問・衆議院議員）、田村智子さん（日本共産党副委員長・参議院議員）がリアル参加、福島瑞穂さん（社民党党首・参議院議員）がビデオ参加であいさつしました。

戦争法に反対し続ける市民団体から、石川健治さん（立憲デモクラシーの会・東京大学教授）、高山佳奈子さん（安全保障関連法に反対する学者の会・京都大学教授）、元山仁士郎さん（元 SEALDs・元 SEALDs 琉球・一橋大学院生）、高岡直子さん（安保関連法に反対するママの会・医師）がスピーチしました。

福山真劫さん（市民連合＝安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合）が野党共通政策の内容と調印に至る経過などを紹介し、総選挙勝利の決意を述べました。

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会と9条改憲NO！全国市民アクションは 9 月 16 日、新宿駅西口で戦争法強行から満 6 年となる中、菅首相が政権投げ出した後、初めての署名・宣伝行動を行いました。42 人が参加し、寄せられた改憲発議に反対する全国緊急署名は 17 人分でした。

コロナ緊急事態宣言のもと、前回に続き、参加者は間隔をとってスタンディングを行い、手袋着用、対面署名の代わりに、リーフと署名用紙のセットの持ち帰り、署名板を相手に渡し署名してもらうようにすること、署名テーブルの活用、宣伝行動の時間短縮などの対策を講じた行動となりました。

同行動では今回初めて宣伝カーを活用し、清水雅彦日体大教授と 1000 人委員会、9 条壊すな！実行委員会、憲法共同センターのメンバーが、戦争法の廃止、菅政権による「コロナ人災」批判、総選挙に向け、市民連合と野党の共通政策の合意を歓迎し、市民と野党の共同で政権交代、憲法を守り生かそうなどと呼びかけました。

次回の署名・宣伝行動は、10 月 14 日新宿駅西口で実施されます。

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会は 9 月 10 日、**ウイメンズアク**

シヨンの宣伝・署名を東京・有楽町イトシア前で取り組みました。この日のアクションには21人が参加し、改憲発議反対全国緊急署名の訴えには5人が署名しました。

市民や福島瑞穂参議院議員ら女性たちによるリレートークでは、9月8日に市民連合と野党4党代表が「総選挙に向けた共通政策」に調印したことを喜び、その実現で政治を変え、政権交代をと口々に呼びかけました。

次のウイメンズアクションは、9月30日有楽町イトシア前で行われます。

東京 総選挙へ6党・会派が市民と集会 なかのゼロホール

市民と野党の共闘で東京都政の転換を求める呼びかけ人会議の主催で、市民団体と野党の集会が、中野区のなかのゼロホールとオンラインを結んで9月8日開かれました。

集会では同会議代表呼びかけ人の五十嵐仁法政大学名誉教授が、「市民連合と野党4党が政策合意し、総選挙は自公政権を代えるチャンス」と述べ、同浜矩子同志社大学教授がオンラインで講演。演題は「アホ・スカ去っても変わらない自民党政治の本質を斬る～彼らを根こそぎ引っっこ抜こう」では、「自民党は『バブル』＝自民党だけの行動原理に包まれ、国民からかけ離れた、自分たちのための政治、下心の手段。アベ・スガがいなくなってもバブルは変わらない。バブルの外の澄んだ空気にさらせば破裂する、それが今度の野党の仕事だ」と語りました。

都議選で市民と野党の共闘で勝利した和泉なおみ（日本共産党）、西村圭太（立憲民主党）両都議が、都議選後共同して主張した結果、コロナ対策やオリンピックの特別委員会が設置されたことなどの都議会の「変化」を報告しました。

日本共産党、立憲民主党、社民党、新社会党、緑の党、東京・生活者ネットの都内の6政党・会派の代表が、総選挙で野党の前進と政権交代を実現する決意を語りました。

山梨 市民と野党が戦争法廃止求め集会 甲府駅前

戦争させない・9条壊すな！山梨行動実行委員会は9月19日夜、甲府市のJR甲府駅南口で「戦争法廃止19日集会」を開きました。集会には80人が参加し、県内の野党代表と市民のリレートークが行われました。

市民連合の関本立美代表ら市民が訴え、立憲民主党の宮沢由佳参議院議員、同中島克仁衆議院議員、日本共産党の花田仁県委員長が発言しました。

長野 高校生が参加してくれたスタンディングの教訓 長野市9条の会

長野市憲法9条の会連絡会は9月9日、長野駅善光寺口でスタンディング宣伝を行いました。行動には12人が参加し、「憲法9条を守ろう」の大横断幕を掲げて訴えました。

この日の宣伝には一人の高校3年生が参加。同高校生の行動参加を通じて、これまでも同会の宣伝行動を見かけていて関心をもってしてくれたこと、学校では憲法9条は変えられるような心配はないと事実と違うことが教えられていること、「改憲が心配」と考えている若者もいて「青年の右傾化」を一般的に決めつけるべきでないことを実感したことなど、参加者が教訓とし共通の思いとするべきことがいくつも確認できました。

新潟 「悪政変えて新しい政治を」市民アクションと市民連合が集会

9条改憲NO！全国市民アクション@新潟と市民連合@新潟は新潟駅南口広場で9月17日、「戦争法廃止！新潟集会」を開催しました。

集会では、佐々木寛市民連合@新潟共同代表がコロナ禍のもとで一層明らかになった悪政の実態を指摘、「政治を変える次の政権の選択肢を示し、新しい政治をつくろう」と呼びかけました。

立憲民主党の西村智奈美衆議院議員、同森ゆう子参議院議員とともに日本共産党、国民民主党、社会民主党、緑・にいがたの代表が連帯あいさつを行いました。この中で渡辺英明社民党県連合幹事長は、「TBSでの八代英輝弁護士や加藤勝信官房長官による共産党への『暴力革命』攻撃発言は、社民党や市民と野党の共闘を求め行動する市民に向けら

れた攻撃だ、共闘をさらに強め攻撃をはね返そう」と訴えました。

石川 **ねばり強く「怒りの昼デモ」、野党共通政策に確信**

石川憲法会議と戦争する国づくりストップ！憲法を守りいかす石川県共同センターは9月15日、「怒りの昼デモ」を行いました。9月8日に合意・署名され市民連合と野党4党の総選挙共通政策を確認、希望ある政治へ共同を進めようとして取り組まれたものです。

行動には20人が参加し、昼休みの繁華街を「平和憲法9条守ろう！」の横断幕や「戦争させない」「市民と野党の共闘」などのプラカードを掲げて行進し、訴えました。飛び入り参加者もいました。

石川 **共闘求め野党に申し入れ** **いしかわ市民連合**

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める！いしかわ市民連合の須藤春夫共同代表（法政大学名誉教授）と五十嵐正博共同代表（金沢大学名誉教授）は9月13日、石川県庁で記者会見し、石川県内の野党に、共闘を求め、申し入れ、懇談したことを報告しました。

会見で両氏は、県内の立憲民主党、日本共産党、社会民主党に9月初め、総選挙で政治転換の意志の明確化、選挙協力、共通政策の策定を内容として申し入れたこと、9月8日の市民連合と野党4党の共通政策の合意を受け改めて野党共闘を求めていくこと、投票率の向上、街頭での宣伝を強めることなどを表明しました。

富山 **「自公政治さようなら」県内キャラバン宣伝**

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求めるオールとやま県民連合は、9月19日から23日までの5日間、富山県全域を回るキャラバン宣伝を取り組みました。

初日の19日の富山市内での宣伝では、参加者が「自公政権はもうごめん！」「市民と野党の共闘で政権交代を！」などの看板を掲げ宣伝、野党各党の代表も参加し、「野党はバラバラでは自民に勝てない。立憲野党が一緒になってたたかってほしい。みんなで投票に行って、新しい政治を作ろう」（水谷俊彦県民連合共同代表）などと訴えました。

静岡 **戦争法廃止、政治変えようスタンディング**

戦争法廃止オールしずおかアクションは9月19日、静岡市葵区呉服町でスタンディングアピール行動を取り組みました。行動には20人が参加し、「戦争法廃止」「9条壊すな」「野党は共闘」などのプラカードを掲げアピールしました。

林克同アクション代表、静岡市9条の会連絡会の合戸政治さん、安保法制に反対する静岡大学有志の会の林弘文さんらが交代でリレートークを行い、憲法違反の戦争法強行採決の後、民主主義破壊の強権政治が続けられてきたことを告発、憲法に基づく政治の回復などを内容とする野党共通政策の実現めざして、総選挙で政治を変えようとして訴えました。

愛知 **「もう限界」と怒りの集会・デモ**

憲法を暮らしと政治にいかす 改憲NO！あいち総がかり行動は9月19日、名古屋市中区で集会とデモを取り組み、「安保法制廃止！」「もう限界！終わらせよう自公政権」と怒りの声をあげ、繁華街でバナーを掲げて行進しました。参加者は300人。

集会では主催者あいさつで長峯信彦共同代表が、野党の臨時国会開催要求に対して政権の開催拒否は明確な憲法違反であると糾弾し、「もう限界！」と声をあげ政治を変えようと呼びかけました。寺西昭愛知視覚障害者協議会事務局長、松本周弁護士・安保法制違憲訴訟の会弁護士事務局長、田巻紘子弁護士らが訴えました。

愛知 **「選挙に行って、さあ政権交代！」 愛知1区で街頭アピール**

市民と野党をつなぐ会@愛知1区は9月26日、名古屋市中区で折からの雨をつき、スタンディングアピールを行いました。

行動には 20 人が参加し、「選挙に行って政治を変えよう」「さあ政権交代だ！」などの横断幕を掲げ通行人に訴えました。

岐阜 「戦争あかん」のパネル掲げリレートーク 多治見市

ピース 19 アクション・たじみは 9 月 19 日、岐阜県多治見市内で「戦争法はただちに廃止」「選挙にいて政治を変えよう」とリレートークとコール、パネルで訴えました。

行動には 50 人が参加しました。立憲民主党の今井るるさん、日本共産党衆議院 5 区予定候補のおげき祥子さんが参加し訴えました。

滋賀 県民集会に 50 人、新潟市民連合の経験学び合う

安倍 9 条改憲 NO！市民アクション・滋賀は 9 月 19 日、9 条改憲を許さない県民集会を開きました。大津市で開かれた集会は 11 回目、50 人が参加しました。

集会では市民連合@新潟の共同代表・佐々木寛新潟国際情報大学教授が講演しました。佐々木教授は、「政権交代するしか、新しい日本はつukれない」と、自民党総裁選の 4 候補が、バイデン米政権の意向のまま日米安保や中国対応で共通しており、誰が総裁になっても戦争国家への道を進むことになることと指摘、自公政権による悪政・強権政治の数々を「危機としての日本」として列挙、批判するとともに、「『危機の認識』はチャンスでもある」と述べました。市民から政策要望を集める「市民の声 1 万人プロジェクト」という新潟の取り組みも紹介し、市民と野党の共同で総選挙をたたかい勝利しようと呼びかけました。

京都 月例の共同のスタンディング 京都市役所前

戦争をさせない 1000 人委員会京都連絡会、市民アクション@きょうと、京都憲法共同センターが呼びかけた戦争法廃止・9 条改憲阻止の集会・スタンディングアピールが 9 月 19 日、京都市中京区の京都市役所前で行われました。

安保法制強行から 6 年、毎月取り組まれている今回の集会では、市民連合と立憲野党 4 党の共通政策の合意を歓迎し、「総選挙で自公政権を倒し、立憲野党による政権交代を」、そのためには京都でも共闘をと決意がアピールされました。

京都の市民連合・ユナイトきょうとの白坂有子さんが、立憲野党への選挙協力を要請する申し入れ書を紹介、1000 人委員会の寺田道男さん、市民アクションの榊原義道さん、憲法共同センターの梶川憲さんがスピーチ、日本共産党の倉林明子副委員長・参議院議員があいさつしました。

奈良 TBS 番組八代弁護士の共闘分断デマ発言に抗議 1 区市民連合

奈良 1 区市民連合（共同代表＝木村育子・坂下淑子・馬場淳・宮尾耕二）は 9 月 16 日、TBS 系番組「ひるおび」でのコメンテーター八代英輝弁護士による、「共産党は暴力革命の方針を持ち続けている、その党と共闘するのか」などとする反共デマ発言について、TBS の社長に対し、抗議文を送りました。

抗議文では、八代発言は日本共産党に対する事実と異なるデマ攻撃であること、同発言は野党共闘分断を意図したものであること、共産党を含めた野党と政策協定を結んだ市民連合への中傷であることを述べ、民主主義を否定するものと指摘、八代発言の訂正と謝罪を働きかけるべきこと、応えない場合は番組から降板させることなどを求めています。

和歌山 弁護士ら 50 人がサイレントデモ 9 条守る弁護士の会

憲法 9 条を守る和歌山弁護士の会は和歌山市で 9 月 14 日、「憲法の破壊を許さないランチ TIME デモ」を取り組みました。雨の中、弁護士ら 50 人が参加し、「憲法の破壊を許さない！集团的自衛権容認反対」の横断幕を掲げ、コロナ対策としてサイレントデモ行進で市民に訴えました。

同デモの取り組みは、2014年7月の集団的自衛権行使容認が閣議決定されそうな状況の中で開始、毎月実施してきたもので、違憲の集団的自衛権行使容認とともに、今日の憲法をおびやかす山積する問題を課題にしています。

大阪 60人が「命を守る政治を！」と訴え 発議反対署名も 高槻市

戦争させない！高槻・島本実行委員会は9月19日、JR高槻駅南側の陸橋で宣伝しました。行動には60人が参加し、「戦争法廃止、立憲主義回復、命と暮らしを守れ、市民と野党の共同で政権交代を」と訴えました。

横断幕やずらりと並べたパネルが通行人に注目され、ピラを約500枚配布、改憲発議に反対する緊急署名が30人から寄せられました。

リレートークでは辻元清美立憲民主党衆議院議員とともに高槻市の立憲民主党、日本共産党、無所属の市議会議員が訴えました。

大阪 府下31カ所で行動 全国いっせい行動に呼応

市民と野党の共闘で新しい政権を いのち、くらしを守る政治を実現しようと大阪府下の各団体は9月9日から19日の全国いっせい行動（憲法共同センターが呼びかけ）に呼応し活動を展開しました。9月27日現在の集約では、上記の戦争させない！高槻・島本実行委員会の行動を含め、府下31カ所の取り組みが報告され、のべ458人が参加しています。

岡山 市民と野党 手をつなぐ合同宣伝 おかやまいっぽん

岡山県の市民団体**おかやまいっぽん**と5つの政党・団体が合同して9月18日、岡山駅前で行いました。

この「市民と立憲野党 手をつなぐ合同宣伝」には、立憲民主党県連代表津村啓介衆議院議員、日本共産党すみより聡美衆議院中国ブロック予定候補と社民党、新社会党、みどり岡山の各代表が参加し、弁士は口々に、4野党と市民連合の間に交わされた共通政策合意を歓迎し、安倍・菅自公政権と決別し、命を守る新しい政治を実現しようと訴えました。

行動に参加した市民は、「立憲野党 やっちゃんれ政権交代」、「省エネと再エネで地球環境を守ろう」などのプラカードを掲げ、弁士に呼応して宣伝しました。

広島 「自民党総裁選で河井疑惑解明をこそ」 1区市民アクション

変わろう HIROSHIMA・1区市民アクションは9月26日、広島市内で第1回学習会を開催しました。30人が参加した学習会では、「『河井疑惑』をただす会」の山根岩男事務局長が「政治は変えられる！声をあげ、選挙に行こう！」を演題に講演しました。

山根事務局長は、広島地方検察庁が告発状を当初受理しなかったが、561人まで告発者が増えて3度目にやっと受理したことや検察庁法の改定を断念させたことなど、市民の世論と運動が動かしてきたことを紹介しました。一方、自民党総裁選の各候補が「政治とカネ」について触れていないことについて、無反省で自浄能力がないことを示すものと強く批判。総選挙では投票に行き、政治を変え、政権交代で河井事件の全容を解明させようと呼びかけました。

島根 自公政治は退場！ 政策協定歓迎 総がかり行動が集会

しまね総がかり行動実行委員会はJR松江駅前9月9日、目前に迫った総選挙で市民と野党共闘の前進を求める集会を開催しました。70人が参加しました。

安保関連法の廃止を求める島根大学人の会の三宅孝之島根大学名誉教授は主催者あいさつで、9月8日の市民連合と野党各党との共通政策の合意・調印を紹介、市民と野党の共闘で今の政権を退場させようと呼びかけました。

リレートークが行われ、4人の市民と立憲民主党、日本共産党、社民党の各県議が発言、国民民主党からメッセージが寄せられました。

愛媛

自公政権にさよならを—共同の街頭宣伝 松山市

安保法制（戦争法）の廃止を求める愛媛の会は9月19日、松山市内で街頭宣伝を行いました。行動には県内の野党各党の代表、個人、市民団体や労働組合などから23人が参加しました。

立憲民主党の県連の渡部昭幹事務局長、無所属・市民派の梶原時義松山市議、日本共産党の片岡朗衆議院愛媛2区予定候補と市民ら8人がリレートークを行いました。同会の井上雄基事務局長は、「安保法制強行から6年のこの日、衆議院選挙で市民と野党の声を集めて野党統一候補を擁立し、自民党に勝ち、自公政権に『さよなら』を告げよう」と呼びかけました。

福岡

「政治を変えよう！」市民と野党が集会 小倉駅、黒崎駅2駅前

北九州市の平和をあきらめない北九州ネットは9月19日、JR小倉駅前と黒崎駅前で同時に集会を開きました。

小倉駅前には約80人が集まり、「市民と野党の共闘で政治をかえよう！」の横断幕などを掲げアピールしました。また市民連合と野党との間で結ばれた共通政策を示したピラが次つぎ受け取られました。

政党からは田村貴昭日本共産党衆議院議員が参加し、市民と共にリレートークに加わりました。安保法制強行からまる6年のこの日のリレートークでは、安保法制（戦争法）の廃止と総選挙での政権交代実現がそれぞれから訴えられました。城井崇立憲民主党衆議院議員からはメッセージが寄せられ紹介されました。

黒崎駅前の集会には50人が参加しました。仁比聡平日本共産党前参議院議員と無所属の緒方林太郎前衆議院議員が駆け付け、訴えました。

福岡

県内市民連合の「選挙に行こう共同アピール」 記者会見

市民連合ふくおかが呼びかけたオンライン記者会見が9月21日行われ、共同アピール「選挙に行こう！差別・選別の社会から『支え合いの社会』へ」を発表しました。

記者会見には選挙区ごとの市民連合や市民団体など10団体と1個人が参加し、それぞれが9月8日に締結された共通政策を歓迎し、福岡でも実現しようと述べるとともに、それぞれの活動を報告しました。

熊本

市民と野党の1～4区一堂に会し街頭演説会

9月20日午前、熊本市のアーケード街入口で熊本県内の野党4党による合同の街頭演説会が行われました。同演説会には、衆議院1区から4区の野党共同の予定候補である立憲民主党県議の濱田太造さん（1区）、日本共産党のはしだ芳昭さん（2区）、社民党の馬場功世さん（3区）、立憲民主党の矢上雅義衆議院議員（4区）と新社会党の岩中伸司県議が参加しました。

それぞれのスピーチでは「与党は野党の国会開けの要求を聞かない、憲法違反だ」（濱田さん）、「総選挙は国民の命がかかっており、市民と野党の共闘で新しい政権実現を」（はしださん）、「消費税は3年間は凍結すべきだ」（馬場さん）、「熊本の課題はなんといっても水俣病問題、解決めざし沿岸住民の健康調査が必要だ」（矢上さん）、「市民連合と野党4党の政策合意を力に本気の共闘を」（岩中さん）などと訴えました。

この日午後には、菊陽町に場所を移し、合同街頭演説会が行われました。

熊本2区・3区からの報告

【以下は玉名市で活動する富永誠治さんから8月31日に寄せられた報告とニュース】

熊本県玉名市の市民で構成する「熊本から民主主義を！玉名の会」（くまみん玉名）は、月1回玉名温泉足湯公園前で朝8時から、街頭宣伝行動を取り組んでいます。コロナ禍の中、昨年は2月から9月まで中止を余儀なくされましたが、10月から再開、地元の日本共産党市議、社民党、新社会党の関係者が大同団結し活動してきました。玉名市は衆議院

選挙は熊本2区。野党統一候補は日本共産党のはしだ芳昭予定候補です。7月からは、はしだ芳昭予定候補も参加し、「野党統一候補で政治を変えよう」と訴え続けています。

熊本県山鹿市の市民で構成する「熊本から民主主義を山鹿の会」(くまみん山鹿)は、コロナ禍でしばらく休止したのち今年の3月下旬から毎週水曜日朝7時半から街頭宣伝行動を実施しています。この時間帯は、ちょうど小中学生の登校時間と重なり、子どもたちの、「おはようございます」の元気な声に励まされています。宣伝は2班に分かれ、月2回は市内2か所でそれぞれが実施、月2回は合同で市内1か所に集中して実施しています。山鹿市は衆議院熊本3区。野党統一候補は、社民党の馬場こうせい予定候補です。馬場さんのシンボルカラーはブルー。「野党統一候補で政治を変えよう!」のブルーののぼり旗がひととき目立っています。

熊本県合志市の「くまみん合志」の仲間も、不定期ながらも月2回のペースで行ってきた街頭宣伝行動を、9月からは毎週金曜日に馬場こうせいさんを先頭に実施しています。

くまみん玉名通信 NO:2 編集・発行:くまみん玉名の会 (熊本県玉名市玉名1玉名の会) 事務局連絡先:090-3979-4155 woody.kuma1000@gmail.com 2021/8/25

8月21日・集会と総会を開催
今秋の総選挙での勝利を!

くまみん玉名は、8月21日、14時より玉名市民会館で、集会和2年ぶりの総会を開催し、コロナ禍という制約がある中、22人が参加しました。今秋の総選挙の勝利を目指して活動することを確認しました。

第一部:集会
「野党統一候補《はしだ芳昭》さんの話を聞こう会」を開催

第一部の集会は、次の総選挙で熊本2区から立候補する「野党統一候補はしだ芳昭さんの話を聞こう会」を開催しました。集会は、くまみん玉名の共同代表の島崎真実さんの司会で行われ、まず最初に、主催者代表として共同代表の島崎真実さんが挨拶、「くまみん玉名は日本共産党を元とする一党で活動してきた団体だ。コロナ禍で一時的に止まったものの、月一回の街頭行動を再開してきた。未だ言論を大きく変えるほどに達していないが、これからもこの活動をぜひ続けていきたい」とその決意を述べました。

市民と野党の共闘で政治を変えよう!

続いて、はしだ芳昭さんが登壇。「1955年の長崎生まれの65歳。小5の時に熊本市に来て、その後熊本の小・中・高・大とすすみ、18歳から日本共産党で活動を始めたと自己紹介。そして、川内ダム建設反対運動にかかわり、党員として市民が大規模な社会や政治を変えることができることを学び、「市民と野党共闘の方で政治を変えよう」とも訴えたいことと述べた。また、選挙の経験が大きいコロナ禍に言及し、選挙活動を通じて今までの社会の在り方が問われて、変



観している新自由主義路線の転換が必要だとし、今大事なのは①医療・福祉・介護・福祉・教育の充実②最低賃金の全国一律増給1500円の実現③消費税の5%減税の実現であると訴えました。さらに、自分の強が15歳の時に長崎で就職、そのために自分が就職2年であることよふながら「だからこそ後進として後進禁止的に育成する必要がある」とも述べ、政治交代が必要だと訴えました。最後に「一点に集って団結すれば、政治は必ず変えられる」と訴え、すべての市民の皆さんに訴えかけていきたい」と決意を述べ、発言を締めくくりました。

2年ぶりの総会を開催
改憲を阻止し、総選挙勝利へ

8月21日、第一部の集会「野党統一候補《はしだ芳昭》さんの話を聞こう会」終了後に、第二部「くまみん玉名の総会を開催した。新型コロナ禍により、2020年度の総会を実施できなかったこともあり、2年ぶりの総会となりました。秋までには必ず実施される総選挙において、熊本では4選挙区で野党統一が実現する中、全国の仲間とともに市民と野党の共闘の方で、熊本2区でははしだ芳昭、候補必勝に向けて活動することを確認しました。

総会は、まず最初に、共同代表の島崎真実さんが挨拶し「新型コロナの新型感染が蔓延している。全員の無症状かつ重症・自公政権に終止符を打たなければ、どうもならない事態と言わなければならない。関連に迫った衆議院選挙で私たちは選ばれるしかない!」と訴えました。次に、総会委員に島本博樹さんを選出、議事に入りました。

島本博樹さんは、第1号議案として、2019・20年度の活動報告、主に2019年の参院選における「あぶく」共闘勝利のための活動やその後の街頭宣伝行動を中心とする総選挙の報告

- ◆共同代表 前田正樹(共産党) 田島八郎(社民党) 島崎真実(新社会党)
- ◆幹事 田中 洋(社民党) 菅田勇樹(共産党) 前田 剛(共産党) 平江雄希(共産党熊本支部)
- ◆事務局長 島 康次
- ◆事務局長 大森勇久(総務) 菅元健士(会計) 島本博樹(書記)

街頭宣伝行動を実施中 毎週第一月曜日 次回は9月6日(月)午前8時~ (場所:立願寺足湯公園前) 雨天中止

<表面>

<裏面>

鹿児島 ALL (オール) 鹿児島の会が対話集会

衆院選での市民・野党共闘をめざすALLかごしまの会は9月19日、市民と3野党の対話集会を鹿児島市中央公民館で開きました。161人の参加者の前で共通政策が発表されました。対話集会の様子はYoutubeでライブ配信されました。

ALLかごしまと立憲民主党、日本共産党、社会民主党3党は、昨年12月から協議を重ね、◇医療、福祉、介護、年金の拡充、◇消費税5%への引き下げ、◇安保法制の廃止、◇ジェンダー平等の実現…など9項目の共通政策で合意、発表となったものです。

立憲民主党の川内ひろし衆議院議員(1区)、日本共産党のまつざき真琴県委員会副委員長(2区)、社会民主党の米永あつ子県連合副代表(4区)の各小選挙区予定候補が出席し発言、立憲民主党の野間たけし県連幹事長(3区)はメッセージを寄せました。

ALLかごしまの高岡茂共同代表は、「力を合わせ自公政治を終わらせよう」と呼びかけました。また、「馬毛島への米軍施設を許さない市民・団体連絡会」の山内光典事務局長は「馬毛島の軍事基地を止めるには政権交代しかない。4候補の必勝を」と訴えました。